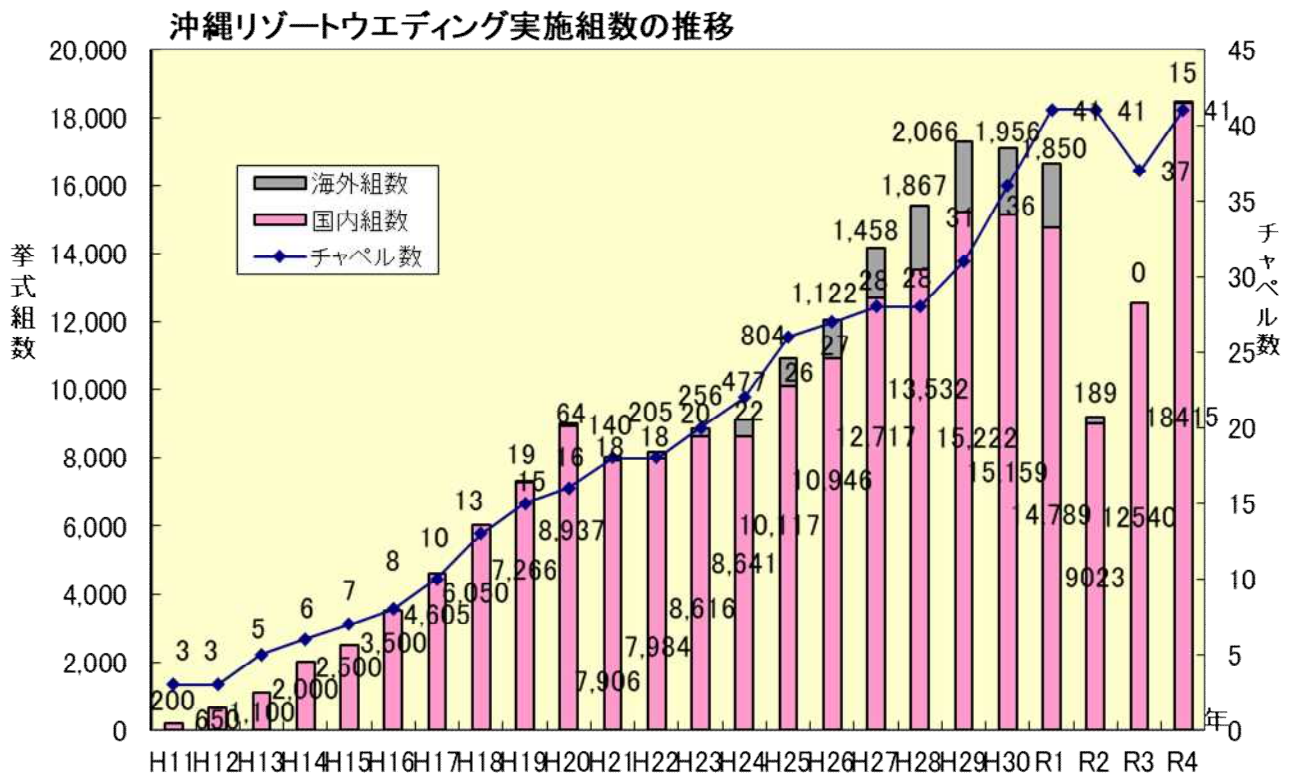




令和4年【年間】 沖縄リゾートウェディング 18,430組

☆☆令和4年【年間】結果☆☆

2022年1月～12月「沖縄リゾートウェディング」の実施組数は、対前年比147%（5,890組増）の **18,430組** と大幅な増加となり、本調査実施以来、過去最多を記録した。内訳は国内組数が対前年比146.9%（5,875組増）の18,415組、海外組数は15組となり、約2年ぶりに海外カップルも戻ってきた。



調査方法：沖縄リゾートウェディングを取り扱う県内関係企業66社を対象に調査を実施。このうち回答のあった47社の数値を集計。

1. 沖縄リゾートウェディングの定義

「沖縄リゾートウェディング」とは、県外及び海外に在住する新郎新婦が、沖縄でウェディングを挙げることを目的に来県し行うウェディングのこと。この調査では、チャペルウェディングだけではなく、フォトウェディングやビーチ・レストラン・琉装ウェディングなども調査対象に含めている。

2. 傾向

- ・令和4年は、新型コロナウイルス感染症に関する行動制限が徐々に緩和され、人の動きが戻ったことから、コロナによって挙式を見合わせていた層や、海外渡航に慎重な層などが沖縄でのウェディング実施に動いたと見られ、実施組数が大幅に増加した。
- ・総実施組数は18,430組で過去最高を更新した。
- ・外国人旅行客の受入緩和に伴い、令和4年10月から海外カップルのリゾートウェディング実施が再開しており、海外組数は15組であった。
 - 香港 11組
 - 台湾 4組
- ・月別の実施組数では、1月を除くすべての月で前年を上回り、4月、7月、10月、11月は2,000組を超え、最も多いのは10月の2,951組だった。
- ・通常はボトム期となる夏場の実施組数も大きく増え、8月は前年比172.5%（476組増）、9月は前年比207.4%（771組増）となり、年間を通して沖縄リゾートウェディング需要の高まりが見られた。

1. 月別挙式状況

トップシーズン☆ 10月(2,951組)、11月(2,579組)、7月(2,291組)の順に多い。

ボトムシーズン★ 1月(304組)、2月(514組)、5月(1,097組)の順に少ない。

- ・ 1月を除くすべての月で前年を上回った。
- ・ 通常はボトム期となる夏場(8月、9月)の実施が大きく伸びた。

2. ウェディングスタイルの状況

挙式割合 : 55.0%

フォト割合 : 国内 42.0%

- (1) 挙式スタイルとしては、「チャペルウェディング」が最も人気で、全体の 55.0% を占めている。
- (2) 挙式は挙げないが、沖縄の海や城跡などのロケーションで写真を撮る「フォトウェディング」も人気が高く、全体の 42.0% を占めている。
- (3) また全体の約 3% と割合的には低いですが、沖縄では以下のような挙式を実施できる。
 - ホテルウェディング…ホテルのバンケットルーム等で行われる挙式
 - ビーチウェディング…海を目の前にした絶好のロケーションで挙式
 - レストランウェディング…沖縄の食材を使った料理を味わいながらカジュアルな雰囲気を楽しめる挙式
 - 琉装ウェディング…琉球王朝時代の正装をまとっての挙式

3. 市町村別挙式組数の状況

恩納村、宮古島市、読谷村、北谷町、名護市で全体の約 69.5% を占め、次いで、宜野座村、糸満市、石垣市、本部町の順で件数が多くなっている。

4. リーガルウェディングの実施状況

海外組数は 15 組で、リーガルウェディング実施は 3 組となった。

※リーガルウェディングとは、海外で現地の法律に基づいて挙式をすることであり、国によって条件・形式が異なる。日本では、戸籍法に基づき婚姻届を市町村役場に届け出ることを指す。

5. 平均参列者数及び平均滞在日数

国内 平均参列者：25.6名（令和3年平均12.7名）

平均滞在日数：新郎新婦3.7日 / 参列者2.7日

- ・新郎新婦は参列者よりも、国内で1日滞在日数が長い。
- ・前年と比較して国内の平均参列者数が大幅に伸びている要因は、新郎新婦ともに沖縄県出身で県外在住のカップル、どちらかが沖縄県出身で県外在住のカップルの挙式が例年に比べ多かったことによるもの。

6. 推計来県者数

約24万8千名の方がリゾートウェディングのために来県していると推計される。

《算出方法》

①組数 18,430組（うち挙式 10,144組、フォト撮影 7,736組）

②平均県外参列者数 20.9名（事業者にヒアリング、県内参列者割合を考慮し算定。フォト撮影の場合は、参列者は0名と仮定）

$(10,144組 \times 22.9名（新郎新婦2名 + 県外参列者20.9名）) + 7,736組 \times（新郎新婦2名）$
 $\div 247,770名$

約247,770名

7. 推計経済効果

リゾートウェディング顧客の県内消費額は、**約334億円**と推計。

《算出方法》

①組数 18,430組（うち挙式 10,144組、フォト撮影 7,736組）

②平均県外参列者数 20.9名（フォト撮影のみの場合は、参列者は0名と仮定）

③平均費用額 挙式 53.1万円、フォト撮影のみ 15.5万円（オープン価格/本調査による平均値）

④国内ウェディング客一人当たりの観光消費額 199,507円（R3年度観光統計実態調査）

⑤県外客消費単価 91,555円（R3年度観光統計実態調査）

挙式費用	10,144組 × 531,000円
フォト費用	7,736組 × 155,000円
新郎新婦消費額	18,430組 × 2名 × 199,507円
県外参列者消費額	10,144組 × 20.9名 × 91,555円
消費額(全体)	33,349,910,948円

➤ 令和4年度 沖縄県の取り組み

(1) ブランディング

- ①ブランド動画（1組のカップルが沖縄で記念日を重ね、家族や大切な人たちと愛を育むショートムービー）制作及び発信

②キービジュアルの制作及び情報発信

(2) 国内プロモーション

①国内主要都市2箇所にて沖縄リゾートウェディングフェアの開催

(3) 海外プロモーション

①台湾で沖縄リゾートウェディングフェアの開催

(4) 受入体制整備・県内周知等

① 県・市町村・観光協会・県内関係企業による「カップルアニバーサリーツーリズム連絡会」を本島、宮古島、石垣島で開催

② 事業者向けセミナー（ヘアメイクセミナー、ウェディングフォトセミナー、コミュニケーションスキルアップ）の実施

➤ 一般社団法人 沖縄リゾートウェディング協会の紹介

平成23年4月、沖縄リゾートウェディングの地位向上と発展を目的に、県内事業者がこれまで各自で行っていた誘致活動などを共同で行うため、ブライダル事業者を中心に「沖縄リゾートウェディング協会」が設立され、平成25年8月に正式に一般社団法人となる。現在の加入事業者は、令和5年3月末時点、理事10社で会員企業は128社あり、以下の取組を実施している。

- ① フェア委員会・・・毎年1月に「沖縄リゾートウェディングフェア」を開催。ウェディング事業会社以外の会員企業のPRも行う。
- ② フォト・ムービー委員会・・・「沖縄リゾートウェディングフォトコンテスト」を開催し、あわせて沖縄リゾートウェディングのゲリラ撮影防止に関する声明文にて撮影許可申請を促し、遵守事業者を公開する等の取組を行う。今年度はヘアメイクコンテストも実施予定。
- ③ 人材育成委員会・・・県外・県内の専門学校・高校における出前講座の実施により、人材確保及び技術力の向上を目指す。修学旅行の受入支援を行う。
- ④ 宮古島支部・・・宮古島の会員がロケ地の健全な利用促進を行い、ウェディングのお客様を歓迎する体制の基盤づくりを行う。
- ⑤ 名護支部準備会・・・本島北部のロケ撮影の健全な利用促進を行い、ロケマップでの情報発信やフォトグラファー研修等を促進し、お客様を歓迎する体制の基盤づくりを行う。
- ⑥ エンターテイメント委員会・・・会員交流会を行い、沖縄リゾートウェディングアンバサダーを活用した業界PR及び、ハネムーン商品造成、SNS等での情報発信を行う。

毎月の理事会、年6回の定例会（偶数月）を行い企業同士のマッチングを図る。

【沖縄リゾートウェディング協会に関する問い合わせ】

事務局：サンネット株式会社

〒900-0012 沖縄県那覇市泊1-3-2 9階

Tel 098-860-0670

E-mail info@tabi-wedding.com

WEB <http://www.tabi-wedding.com>

【統計調査についての問い合わせ】

沖縄県文化観光スポーツ部 観光振興課
観光振興課 誘致企画班

TEL：098-866-2764

FAX：098-866-2765